

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	転移性骨腫瘍における血中 GDPP 測定の検討
	研究目的	進行してしまったがんでは、骨への転移がしばしば起こり、厳しい疼痛や病的な骨折を引き起こして、患者さんの大きな苦痛となります。しかしながら、骨への転移の診断や病変の状態を血液検査で簡便にモニタリングできるマーカーがありません。この研究では、このマーカー候補である GDPP という物質を見つけた大阪大学泌尿器科と共同研究して、本当に GDPP が骨への転移を診断できるか、患者さんから研究用に頂いてある血液を検査して検討します。
	研究対象者	2010 年 1 月から 2024 年 12 月末までの間に、当センターを受診した患者さんの内、書面で研究協力に同意して頂いた方で、骨への転移があるがんの治療を受けた患者さん、骨以外の臓器に転移があるがんの治療を受けた患者さん、及び、転移のない肺がん、乳がん、前立腺がん、腎がんの治療を受けた患者さん。
	研究期間	西 暦 2023 年 2 月 6 日 ～ 西 暦 2025 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	☒ 血液 ☐ だ液 ☒ 臨床検査データ ☐ 病理組織 ☐ 排泄物 (尿・便) ☒ 病理診断結果 ☐ 毛髪 ☒ 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	臨床研究所がん分子病態学部、病理診断科、診療各科
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	大阪大学医学部泌尿器科 加藤大悟
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター・臨床研究所・宮城洋平・連絡先：045-520-2222 利用停止のお申し出は 2025 年 4 月 30 日までお願いいたします	